

Hem21 NEWS

公益財団法人
ひょうご震災記念21世紀研究機構
ニュース

CONTENTS

- ①～② 「平成24年度研究体制とミッション」
- ③～④ 地域支援活動の紹介
- ⑤ 情報ひろば
- ⑥～⑧ 人と防災未来センター
MIRAI

「Hem21」は、ひょうご震災記念21世紀研究機構の英語表記である
Hyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Instituteの略称です。

VOL. **34** 平成24年
(2012) 7月

当機構の平成24年度研究体制をご紹介します。
研究調査本部では、防災・減災の社会づくりに資するとともに、21世紀文明のあり方について研究し、国内外の政策形成に情報発信すべく、研究調査の推進を図っていきます。

研究テーマと 担当研究員

「災害時の広域連携支援の役割の考察」

善教 将大 主任研究員

関西広域連合の形成過程と東日本大震災での災害支援活動を事例に、行政学的見地から広域行政と防災行政に関する新たな理論の構築を目指すとともに、広域連携支援の問題点や課題について検討し、その解決へ向けての政策提言を行う。



「大震災復興過程の比較研究～関東、阪神・淡路、東日本の三大震災を中心に～」

林 昌宏 主任研究員

3つの大震災(関東、阪神・淡路、東日本)を対象にして、社会科学・公共政策学的な観点から、①震災をめぐる社会的認識、②政府の危機管理、③復旧復興の政治過程を比較研究し、これらを基に、今後のわが国における危機管理や、震災からの復興体制のあり方について政策提言を行う。



「平成24年度研究体制とミッション」

「ローカル・ガバナンスが創る共生社会」

穂苅 耕介 主任研究員

ローカルレベルで立ち現れてくる貧困や格差問題、社会的排除などの課題に対し、市民・公益的市民組織・自治体・企業などがつくる市民社会の営為の実態把握とそれを支えるために必要な社会制度について討議する。これを通じて、共生的なガバナンスを指向する望ましい民主主義のあり方を射程に据えながら、新たな共生社会のデザインに向けた政策提言を行う。



「国際防災協力体制構築の検討～アジアを中心に～」

伊賀 司 主任研究員

アジア諸国における大規模災害発生時の緊急対応を中心とする国際防災協力の仕組みについて明らかにする。同時に、アジア諸国における災害リスク軽減に向けて、日本政府だけでなく、地方自治体、NGOや企業などによる協力関係の構築に向けた政策提言を行う。



「中小企業における海外事業展開の動向と課題」

長谷川 英伸 主任研究員

グローバル化に直面している中小企業の存立維持を図るためには、国内市場のみならず海外市場を取り込む事業展開が必要不可欠となっている。そこで、県内中小企業の海外事業展開の動向と実態を明らかにし、海外展開を目指す中小企業に対する支援方策について政策提言を行う。



「高齢者就業・社会参画の拡大」

加藤 泰子 主任研究員

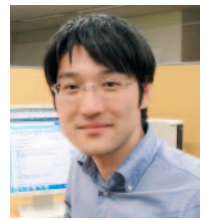
高齢者が社会に関わり続け、社会への貢献・役割意識を持つことは、高齢期の生活の質の向上や地域社会の維持・発展にとって重要な課題である。そこで、「生涯現役社会」の実現に向けて高齢者が働き、また、能力を生かしていくための環境整備や社会システムの構築について政策提言を行う。



「県民参画型の地域エネルギーシステムの構築」

木村 啓二 主任研究員

エネルギーに関する地域自律性を高めるためには、県民主体かつ地域コミュニティレベルでの再生可能エネルギーの活用や省エネへの取り組みが不可欠である。そこで、地域エネルギーシステムの現状と課題を明らかにし、広く県民が参画できる仕組みづくりについて政策提言を行う。



HAT神戸 掲示板

兵庫県立美術館

日カタール国交樹立40周年 パール 海の宝石展

日本とカタールの国交樹立40周年を記念して、カタール美術館庁の企画により構成。カタールを中心にアラビア湾で採取されていた天然真珠の歴史と成り立ちを映像などで紹介するとともに、中世ヨーロッパの王や王妃をはじめ、イスラムの世界でも神の姿を映すものとされてきた華麗な美しさを持つ真珠宝飾品を展示します。



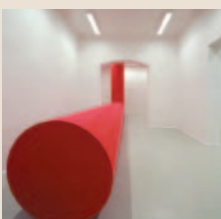
アラビア湾の天然真珠

- 会期=10月14日(日)まで
- 観覧料=一般1,300(1,100)円、大学生900(700)円、高校生・65歳以上650(550)円、中学生以下無料
- ※()は20人以上の団体割引料金
- ※前売券の販売はありません
- ※障害のある方とその介護の方1人は当日料金の半額(65歳以上を除く)
- ※割引を受けられる方は、証明できるものをお持ちの上、会期中に同館窓口で入場券を購入してください
- ※本展覧会の観覧券でコレクション展IIもご覧になれます

2012年度コレクション展II

特集:新収蔵品によるS.W.ヘイター展 小企画:美術の中のかたち一手で見る造形 祐成政徳展

特集では、20世紀の巨匠S.W.ヘイター(1901-88)の191点の寄贈作品の中から、彼の芸術の真髄である版画や珍しい油彩画などを紹介します。さらに、新たに収蔵された10人の作家の作品も紹介します。また、小企画では、毎年夏に開催している手で触れて鑑賞する展覧会を今年も実施。祐成政徳(1960-)氏がインスタレーションを行います。



祐成政徳 (HEAVEN-PEACE-BLOOD) 2003年(参考図版)

- 会期=11月4日(日)まで
- 観覧料=一般500(400)<300>円、大学生400(320)<240>円、高校生・65歳以上250(200)<150>円
- ※ただし、9月22日までは、クールスポット期間として各料金の半額に
- ※()は20人以上の団体割引料金、< >は特別展とのセット割引料金
- ※障害のある方とその介護の方1人は無料(ただし、65歳以上の割引との併用はできません)

- ◎休館日=月曜(9月17日、10月8日は開館し、9月18日、10月9日に休館)
- ◎開館時間=10時~18時(特別展開催中の金曜・土曜は20時まで「パール海の宝石展」は除く)
- ※入場は開館の30分前まで
- TEL 078-262-0901 <http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

JICA関西

◆スポーツde国際協力~ボランティア体験談と世界のスポーツから楽しく学ぼう!~

第1部は、マダガスカルの伝統的な遊び「クバール」を体験!クバールのルールは簡単で、誰でもすぐに試合を楽しむことができます。第2部は、エチオピアで体育隊員として活動した元青年海外協力隊員の体験談。ぜひ、お子様と一緒にご参加ください。



- 日 程=8月11日(土)
- 時 間=第1部:13時30分から15時まで
第2部:15時から16時まで

- 会 場=JICA関西
- 参加費=無料 ※事前申込み必要

▶お申込み方法

必要事項(チラシ参照)を明記の上、メールまたはFAXでお申込みください。メールの場合、件名を「スポーツde国際協力 第〇部 参加希望」としてください。

◆食べることから始める国際協力! JICA関西食堂月替りエスニック料理

JICA関西1階の食堂(カフェテリア方式)は、どなたでもご利用できます。完全禁煙で、安心して料理を楽しめ、子供椅子もご用意していますので、お子様連れも歓迎です。大好評の月替りエスニック料理(飲物付¥700)の8月はマレーシア料理、9月は南米プレートをご用意します!珍しい料理を食べて、世界を感じてみませんか?



写真は6月の南アフリカ料理

- メニューの詳細と写真については、こちら→ <http://www.jica.go.jp/kansai/office/restaurant/index.html>
- 営業時間=(昼)11時30分から14時まで (夜)17時30分から21時まで
- ※各終了30分前ラストオーダー
- 定休日=無休(但し、年末年始を除く)

◎問い合わせ

JICA関西(独立行政法人国際協力機構関西国際センター)
TEL 078-261-0341(代) FAX 078-261-0384
〒651-0073 神戸市中央区協浜海岸通1-5-2
Eメール jicaksic-event@jica.go.jp <http://www.jica.go.jp/kansai/>

日本赤十字社 兵庫県支部

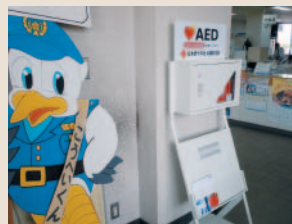
いのちと健康を守る赤十字の活動にご協力ください

日本赤十字社の活動は、災害救護活動をはじめ、赤十字病院の運営、献血運動、青少年やボランティアの育成、救急法等の講習などさまざまです。皆さまの地域でも「街角の赤十字」として県内の交番や派出所に救急箱を、また心拍停止止の救命率向上のため、県内の警察施設へAEDの設置をするなど、皆さまの安全安心のために活動しています。これらの活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金により支えられています。

赤十字の活動資金にご支援、ご協力をよろしくお願いします。

◎お問合せ先

日本赤十字社兵庫県支部
お電話から TEL 078-241-9889(代表)
パソコンから



●地域支援活動の紹介●

災害や事件・事故等の発生時には、「こころのケア」についての緊急的・集中的な対応が必要となってきます。当センターでは、地域からのこころのケアについての支援要請に対し、体制整備についての助言をはじめ、こころのケアチームの編成や派遣を行い、現地で直接的な支援活動を行っています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、「兵庫県こころのケアチーム」のメンバーとして現地に赴き、3月18日から6月28日まで宮城県仙台市において避難所における精神科救護活動、避難所巡回相談、現地スタッフへの研修講師などを行ってきました。また、10月31日から11月25日まで福島県相馬市へ兵庫県こころのケアチームとして赴き、仮設住宅の集会場で開催される「いつもここで一休みの会」の運営と戸別訪問を通して、支援活動の一端を担いました。さらに、地元自治体の要請に基づき、支援者への助言や研修講師の派遣を行っています。

この他、昨年度の災害支援としては、中国四川大地震復興支援こころのケア人材育成プロジェクトとして現地セミナーを開催し、また兵庫県内では平成21年台風9



スタッフミーティングの様子(福島県)

号災害に伴う、佐用町への実態調査および調査結果を踏まえたケア体制整備への助言、被災者のケア、支援者のケアなどについて現地派遣を実施しました。これらの災害支援については、今年度も継続して実施します。

今後も、これまで積み重ねた活動を基に、災害や事件・事故等の発生時の支援活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



避難所における支援活動の様子(宮城県)



地元支援スタッフとの打ち合わせ(宮城県)

主な活動実績

- 東日本大震災
- 平成21年台風9号災害(佐用町・宍粟市)
- 能登半島地震災害
- スマトラ島沖地震による津波災害(インドネシア)
- 新潟県中越地震災害
- 福井県豪雨災害
- ニュージーランド地震
- 中国四川大地震
- JR福知山線脱線事故
- 平成16年台風23号災害(但馬・淡路)
- 新潟県豪雨災害

災害・被害時に起こる心理的影響と回復のためにできること

こころも「ケガ」をします。

災害や事故・事件などに巻き込まれると、そのショックで、こころは大きな「ケガ」をすることがあります。こころがケガをすると、いろいろなことが起こります。ささいなことでイライラする、夜眠れない、その時の光景が何度も思い浮かぶ、誰とも話す気持ちにならない、何もする気になれないなど、これまで感じたことのない気持ちの変化や体の不調が起こることがあります。それらは多くの人が普通に経験するもので、決して特別なものではありません。このような精神的影響を「トラウマ(心的外傷)反応」といいます。

こころとからだの健康を保つために

- ちょっと一休み — 全力で頑張りすぎないで、定期的に一休みしましょう。
- 気持ちを言葉にしてみましょう。
- 回復の早さは人それぞれ違います。せかさないで見守ってあげましょう。
- 専門家に相談してみましょう。身近な人にさえ打ち明けられない気持ちでも、専門家ならじっくり聞いてくれるはずです。ためらわず相談してみましょう。

情報ひろば

兵庫県こころのケアセンター

平成24年度 第1期「こころのケア」研修の受講生募集

兵庫県こころのケアセンターでは、「こころのケア」に携わる保健・医療・福祉等の分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法等について学ぶ「専門研修」と、こころのケアに関する知識や理解を深める「基礎研修」を実施しています。

8月下旬から10月にかけて実施する研修の受講生を次のとおり募集しています。ぜひご参加ください。

▶ 研修概要

区分	コース名	期 間	定員	対 象	受講料 (資料代等)
専門 研修	① 悲嘆の理解と遺族への支援	9月19日(水) 20日(木) (2日間)	35人	医療・保健・福祉・ 心理臨床の分野 で活動する者お よび遺族支援に 携わる者	2,500円
	② 警察職員のためのストレスマネジメント	10月4日(木) (1日間)	30人	警察職員	2,200円
	③ 災害に備える—サイコソシアルファーストエイドと防災教育—	10月10日(水) 11日(木) (2日間)	25人	自治体防災・危機管理・精神保健福祉関係等職員	3,000円
	④ 犯罪被害とこころのケア	10月18日(木) 19日(金) (2日間)	25人	保健・医療・福祉・ 教育・司法・警察・ 消防関係職員	3,000円
基礎 研修	⑤ 子どものトラウマの基礎知識	8月21日(火) (1日間)	80人	保健・医療・福祉・ 教育・司法・警察・ 消防関係職員	800円



- ▶ 場所=兵庫県こころのケアセンター
- ▶ 申し込み方法=各コースとも先着順で受け付けます。受講申込書(※)に必要事項を記入の上、郵送またはFAXで下記照会先までお送りください。
※本センターホームページよりダウンロードできます

- 申し込み・問い合わせ
 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
 兵庫県こころのケアセンター
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2
 (阪神「春日野道」駅から南へ徒歩約8分)
 TEL 078-200-3010 FAX 078-200-3017
<http://www.j-hits.org/>

学術交流センター

「ひょうご講座2012」開催のご案内

学術交流センターでは、兵庫県内の大学や研究機関等と連携して、専門的な大学教養レベルの生涯学習講座『ひょうご講座2012』を9月より開催します。

数ある生涯学習の中でも、特に1つの科目・テーマを掘り下げて幅広い視点から考察するのが本講座の特徴です。時代の潮流を踏まえたテーマで6科目を実施します。

■概要等

- ▶ 時間＝平日(火曜・木曜・金曜)18時30分～20時
- ▶ 日数＝10回(1回あたり90分講義。週1回、同一曜日に実施)
- ▶ 受講料＝1万5,000円(1科目、10回)
- ▶ 定員＝1科目あたり約40人
- ▶ 開講場所＝兵庫県民会館(地下鉄「県庁前駅」下車すぐ)
- ▶ 開設科目

※「混迷する世界経済の行方」は定員になり、受付を締め切りました

分野	科目名	日程
国際経済	混迷する世界経済の行方*	9/4(火)～11/6(火)
国際理解	アジアの時代と日中関係	9/4(火)～11/6(火)
伝統芸術	伝統芸術の過去・現在・将来	9/6(木)～11/8(木)
科学技術	自然及び人工災害に接して:自然・科学・技術を考える	9/13(木)～11/15(木)
歴史	兵庫・神戸を中心とした古代・中世史	9/7(金)～11/16(金)
地球環境	兵庫の大地と私たちの暮らし	9/14(金)～11/30(金)

《注目の科目》

『自然及び人工災害に接して:自然・科学・技術を考える』

東日本大震災以降、科学技術と政治・経済システムの複雑で奥深い関連が見え始めています。我々が手にした科学技術と人類の未来の姿を専門家と共に議論していきます。



『兵庫の大地と私たちの暮らし』

変動する地球に住む我々は、大地と付き合いながら街や暮らし・文化を作り出してきました。人と大地の関わり、地域の成り立ち等について、研究者とフリーディスカッションしながら考えていきます。本講座は「サイエンスカフェ形式」で実施します。

『伝統芸術の過去・現在・将来』

「伝統芸術」とは過去の芸術を想起しますが、日本・東洋の伝統芸術の普遍性、存在意義を現在から将来へと広げて多方面から専門家と共に考えていきます。

『兵庫・神戸を中心とした古代・中世史』

大河ドラマ「平清盛」の時代考証を担当されている高橋昌明神戸大学名誉教授をコーディネーターに迎えて、古く豊かな歴史を持つ兵庫・神戸を中心とした古代・中世史をシリーズでお届けします。

■募集期間

各開講日の1週間前まで、ただし、先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。(インターネット、FAX、郵送で受付)

●申し込み・問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
学術交流センター 事業課
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
TEL 078-262-5714 FAX 078-262-5122



ひょうご講座

検索

兵庫自治学会のご案内



兵庫自治学会とは、県政および県内市町行政の振興と地域の発展のために、行政や地域に関するさまざまな課題について研究し、課題解決のための政策形成能力の向上と、組織や職種を超えた幅広いネットワークづくりを目指している団体です。自らの視野を広げるため、一歩踏み出してチャレンジしてみませんか?

■入会するとこんなメリットが!

- ①研究発表大会での発表・ディスカッションを通じて、興味のある行政・地域課題についての研究に取り組み、学識者のアドバイスを受けることができます!
- ②グループでの研究やセミナー等を企画・実施しようとする人は、資金面等で援助が受けられます!研究に関しては指導・助言を行う学識者のあっせんも受けられます!
- ③日頃の研究成果を論文として投稿でき、査読を受けて学会誌に掲載されます!
- ④会報、メルマガ、ホームページ等を通じて、研究発表大会・セミナー・他の会員が主催するイベント等の情報を定期的に受け取ることができます!
- ⑤学会事業への参加を通じ、興味を同じくする地方自治体職員、NPO関係者、学識者、さらには米国の行政関係者らとの、人的ネットワークを広げることができます!

■学会の主な事業

(1)研究発表大会(平成24年度大会概要)

▶日時＝10月6日(土)

▶場所＝兵庫県立大学 神戸学園都市キャンパス(神戸市西区学園西町)
大会テーマ:地域主導による地域活性化に向けて

▶内容＝(午前)全体会(基調講演・対談)

基調講演 演題「地域力とは?～地域力創造のカギ」(仮題)

講師 椎川 忍氏

(総務省自治財政局長(前 地域力創造審議官))

対 談 講師 椎川 忍氏(同上)

金澤 和夫氏(兵庫県副知事)

コーディネーター

畑 正夫氏(兵庫県立大学地域創造機構教授)

〈午後〉分科会(地域づくり、防災・安全安心、環境、産業・雇用、教育・福祉)会員等による研究発表および参加者との意見交換

※参加申込の受付は9月より開始予定です

(2)グループ研究応援事業

グループで行うさまざまな地域課題に関する研究活動に上限10万円までの助成を行っています。

(3)コラボレーション・プロジェクト

会員が自主的に企画・開催する地域課題・行政課題等に関するセミナー等に、上限10万円まで助成します。

(4)兵庫自治学会セミナー

行政・地域課題をテーマにしたセミナーを県内地域で開催します。

(5)論文の自主投稿(査読付)制度

会員からの自主投稿論文を募集しており、査読を受けた論文が掲載されます。

(6)全米公共・行政学会(ASPA)との交流

米国の行政実務家や学識者などで構成され、行政に関する学術の向上促進を目的とするASPAとの交流を行っています。

■会員になるには

年会費2,000円。

兵庫県職員、県内市町職員、県内に在住または在勤の学識者・NPO職員・個人に該当する方ならどなたでもご入会いただけます。(会員数約900人)

●問い合わせ

兵庫自治学会事務局

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

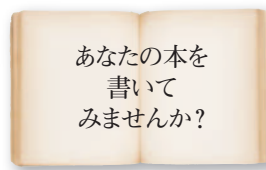
(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構・学術交流センター内

TEL 078-262-5714 FAX 078-262-5122

Eメール gakujuitsu@dri.ne.jp http://hapsa.net/

言葉を伝える

私に伝えた
誰かのように



あなたの本を
書いて
みませんか?

小説、自伝、詩集などあなたがお書きになった原稿をご予算に応じた自費出版プランでご提案いたします。また、各企業の記念誌等の企画・プロデュースもいたしております。どうぞお気軽にご相談ください。

ISO14001

当社の印刷センターはISO14001の認証を取得しています。新聞印刷及び各種商業印刷



株式会社 神戸新聞総合印刷

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

印刷物の企画プロデュースから編集・印刷まで、ニーズに合わせてトータルに手がけます。

☎078-362-7180

http://www.kobepn-printing.co.jp/

企画・デザイン・編集・制作・新聞印刷・商業印刷
出版印刷・新聞広告・雑誌広告・SP・イベント・IT事業

●平成24年度春期 災害対策専門研修マネジメントコースの実施結果

人と防災未来センターでは、地方自治体職員などを対象とした「災害対策専門研修」マネジメントコースを平成14年度から実施しています。当該コースは、災害対策実務の中核を担う人材の育成を目的とし、阪神・淡路大震災の教訓を学習することを重点としつつ、最新の研究成果も取り入れ、能力に応じた体系的、実践的なカリキュラムとしています。これまでに、延べ4,800人を超える方々が受講され、全国の自治体等から高い評価を得ています。春期研修においては、ベーシック、エキスパートAおよびエキスパートBの3コースを実施しました。

ベーシックでは、経験年数の浅い防災・危機管理担当部局の職員を対象に、災害の発生に関する理論や阪神・淡路大震災の経験を踏まえた災害対策のあり方など、基礎的な事項についての体系的な講義やセンターの資料展示を活用した演習などを実施しました。

また、エキスパートAおよびエキスパートBでは、防災・危機管理担当部局の職員を対象として、大規模災害発生時に各種の対応が同時並行的に展開する状況を横断的・総合的に捉え、これに対処する能力を向上させることを目的に研修を実施しました。カリキュラムとしては、報道機関と連携した積極的な情報発信のあり方をテーマとした講義や災害対策本部を機能させる効果的なレイアウトを考える演習、防災・減災ワークショップの手法を学ぶ演習などを行いました。

研修終了後のアンケートでは、「防災についてこんなに考えた4日間は初めてでした」「職場に戻ってから再度資料を読み直し、職員で各テーマについて話したいと思います」「防災行政、特に災害時対応について体系立てて学ぶ機会は貴重だと思う」「これまで、当たり前にかけていたことを見直すよききっかけになった」など、意見が寄せられました。さらには、受講者間の交流を通じて防災担当者の全国的なネットワークが一層強まりました。

コース名	日程	参加人数	震災特別枠
ベーシック	6月5日(火)～8日(金)	59人	3人
エキスパートA	6月19日(火)～22日(金)	24人	1人
エキスパートB	6月12日(火)～15日(金)	20人	0人
合計(延べ)		103人	4人

なお、秋期(10月)については、エキスパートA、エキスパートBおよびアドバンスト・防災監／危機管理監の3コースを予定しています。



「災害対策専門研修ワークショップ」演習風景(エキスパートB 6月14日)



「全体討論会」演習風景(ベーシック 6月8日)



被災現場での「都市の復興概論」講義風景(エキスパートA 6月21日)

●平成24年度 トライやる・ウィーク

神戸市立雲雀丘中学校の2年生2人(6月5日から8日までの4日間)、啓明学院中学校の3年生3人と神戸市立筒井台中学校2年生3人(6月12日から15日までの4日間)が、トライやる・ウィークとしてセンターで実習を行いました。

シアターへの来館者の誘導、実験コーナーでの来館者の実験の手伝いや、資料室収蔵庫での作業に加え、館内配布用の防災クイズの問題作成等、さまざまな体験をしました。



神戸市立雲雀丘中学校



啓明学院中学校



神戸市立筒井台中学校

友の会活動報告

総会

6月14日、センターにおいて友の会総会が開催されました。今年度の事業計画等について議論が交わされ、終了後は東日本大震災の新規3D映像の鑑賞会も実施されました。

施設見学会

6月24日、センターのボランティア研修と合同で、施設見学会を実施しました。今年度は、津波対策の教訓を学ぶため、和歌山県の「稲むらの火の館」を見学。津波から人々を救った濱口梧陵の記念館の他に、津波についていろいろな体験学習ができる施設となっており、参加した会員は熱心に津波について学んでいました。

当日は小雨のぱらつく天気でしたが、館内見学の後、津波後の事業として作られた堤防の見学もでき、復興の生活再建の事業が次の減災につながっていることをその目で確かめることができました。

見学会に参加した会員からは「行きのバスで津波のビデオを見た上で、施設でいろいろと見学できたので、とても勉強になった」等の声が寄せられました。



(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

観覧案内・予約 / TEL 078-262-5050 <http://www.dri.ne.jp/>

開館時間 9時30分～17時30分(入館は16時30分まで)
 ※7月～9月は9時30分～18時(入館は17時まで)
 ※金曜、土曜は9時30分～19時(入館は18時まで)

入館料金

大人	大学生	高校生	小・中学生
600円(480円)	450円(360円)	300円(240円)	無料

※()は20人以上の団体料金
 ※障害者、65歳以上の高齢者は上記の半額
 ※9月22日までクールスポット料金(半額・10円未満切り捨て)となります

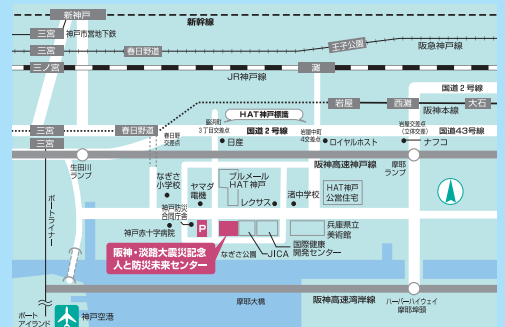
休館日

毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)、12月31日と1月1日
 ※ゴールデンウィーク期間中(4月28日から5月5日まで)は無休
 ※資料室の開室日についてはホームページでご確認ください

交通

- 鉄道**
- ・阪神電鉄「岩屋」駅、「春日野道」駅から徒歩約10分
 - ・JR「灘」駅南口から徒歩12分
 - ・阪急電鉄「王子公園」駅西口から徒歩約20分
- バス**
- ・三宮駅前から約15分
 - ・阪神高速道路神戸線「生田川」ランプから約8分
 - ・阪神高速道路神戸線「摩耶」ランプから約4分
 - ・阪急・阪神・JR「三宮」駅から約10分

●有料駐車場あり ●バス待機所(予約制/無料)あり



平成24年度 1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」募集中

阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向かって継承していくため、学校や地域で防災教育や防災活動に取り組んでいる子どもや学生を顕彰する事業です。

「ぼうさい甲子園」では、日常の備えとなる学校や地域での取り組みを募集しています。さらに今年度は、東日本大震災において津波の被害が大きかったことから、「1.津波避難訓練や津波対策の取り組み」、国語、理科、家庭科等の一般教科に防災を取り入れた「2.教科教育の中での防災教育の取り組み」の2つのテーマを設け、特色のある取り組みを表彰します。また、継続的にご応募いただいている学校・団体の表彰も予定しています。

次世代を担う子どもたちの防災活動や災害に取り組む活動が、防災教育の新たな道を切り開き、前進していきますように、との願いを込めて、平成24年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」を実施します。



過去の受賞校の取り組み等を携帯で見ることができます。

【対象部門】

①小学生 ②中学生 ③高校生 ④大学生
(その他:自主防災組織・NPO等からも各部門に応募可)

【対象活動】

自然災害から命と暮らしを守るための防災教育や防災活動の取り組み。応募は学校、クラス、サークル活動、ボランティア活動、地域などの単位で。※他薦歓迎

【対象期間】

平成23年10月1日～25年3月31日(活動予定も含む)

【応募締め切り】

平成24年9月30日(消印有効)

【応募用紙の配布】

- インターネットからの入手
下記のアドレスから、応募用紙の様式をダウンロードできます。
<http://www.mainichi.co.jp/event/edu/bousai/>
- 配布
下記の機関で応募用紙を配布しています。
 - ・兵庫県復興支援課
 - ・(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

【応募先】

〒663-8201 西宮市田代町16-8 パルティーレN棟西号室
(特非)さくらネット内ぼうさい甲子園事務局



Hem21 NEWS
vol.34

平成24年7月発行

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(人と防災未来センター)
<http://www.hemri21.jp/>

当機構は、以下の組織で構成しています。

●管理部門
TEL 078-262-5580
FAX 078-262-5587

●研究調査本部
TEL 078-262-5570
FAX 078-262-5593

●人と防災未来センター
TEL 078-262-5050
FAX 078-262-5055

●学術交流センター
TEL 078-262-5713
FAX 078-262-5122

●こころのケアセンター
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2
TEL 078-200-3010
FAX 078-200-3017

ニュースレターに関するご意見・
ご感想を機構までお寄せください